

ビジョン発信プロジェクト 2020

Vol.4

2020年10月発行

～活動の軌跡、メンバーの想い～

神戸大学ビジョン発信プロジェクトは、2019年1月から、ブランディング戦略の強化、外部資金獲得のための戦略的情報発信及び教職員の協働意識や求心力の向上を含む学内における機能強化実行の後押しを目的として、有志の若手職員を中心としたメンバーで活動しています。

ついに、「[統合報告書2020](#)」が完成しました！ご協力いただいた学内外の関係者のみなさま本当にありがとうございました。ホームページにPDF版を掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

1ページ1ページ心を込めて作成しましたので、一言一句読んでいただきたいところですが、全てのページを読む時間が無い方もいらっしゃると思います。そこで、今回発行するvol.4では、厳選した一部のページを紹介したいと思います！各ページの作成を担当したメンバーの感想とともに、ぜひご覧ください♪

統合報告書2020完成！！

順次各部署に冊子を配布しておりますので、ぜひ手に取ってお読みください♪
ご意見・ご感想も受け付けております！ホームページのアンケートよりご回答ください。

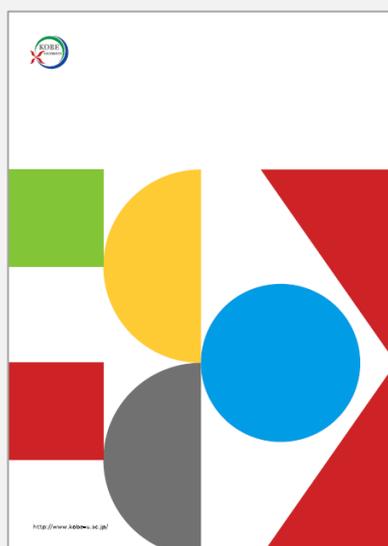


(表)



表紙は、昨年と同じく「KOBE」の文字で構成することで継続性を感じさせつつ、今年の報告書ならではの「ダイバーシティ（多様性）」を意識したカラフルなデザインになっています♪

(裏)



統合報告書2019



洗練されたグローバル教育

充実した様子・生活レポートの中での学び



HINDLE, Jessica Anne

神戸大学の1年間はとてもチャレンジングで、自分自身が成長したことを感じています。私は、オックスフォード大学で日本語を1年間履修し、途中から神戸オックスフォード日本語プログラム (OSOP) で日本語と文学部の専門科目を履修しています。私の日本語の学びは、『Kawaii』という授業です。履修科目ごとの授業が知りませんでした。日本でもよく分かって、面白い授業で、自分の文化と外国文化を学ぶことができました。自分自身にとっても役に立つ経験ができました。日本語やアジアの伝統や文化に興味を持って、履修後は、日本だけでなく、専門分野として技術を熟知したいと思っています。

「専門性」と「アウトプットする力」の習得



私はグローバル人材とは、海外の考え方や文化、そしてその背景も理解し、日本としてのアプローチや専門性に強みがある。海外の方々と議論できる人材と考えます。交換留学期間を含め、短期5年で卒業及び大学院修了の3年一貫経済学国際教育プログラム (IEE) では、「専門性 (専門性)」と「アウトプットする力 (実践)」を両輪で身につけてきました。加えて、オンライン (Web) での履修科目の履修は、自分の考えや意見を発信し、意見を述べ、議論する機会が豊富です。また、海外で学ぶことで、自分の考えや意見を発信し、意見を述べ、議論する機会が豊富です。また、海外で学ぶことで、自分の考えや意見を発信し、意見を述べ、議論する機会が豊富です。

神戸大学で、地元の文化や生活を知り、国際的な人間関係を築く機会が豊富です。海外で学ぶことで、自分の考えや意見を発信し、意見を述べ、議論する機会が豊富です。また、海外で学ぶことで、自分の考えや意見を発信し、意見を述べ、議論する機会が豊富です。

神戸大学で、地元の文化や生活を知り、国際的な人間関係を築く機会が豊富です。海外で学ぶことで、自分の考えや意見を発信し、意見を述べ、議論する機会が豊富です。また、海外で学ぶことで、自分の考えや意見を発信し、意見を述べ、議論する機会が豊富です。

学生が成長していく姿、気になりませんか？今年の統合報告書では、神戸大学の教育の中でも「グローバル」に焦点をあて、留学生と卒業生にインタビューを行いました。神戸大学で得た経験、留学を通して得た経験が学生の成長を促し、彼らの未来に繋がっていていることが、僅か数百字の記事の中に凝縮されています。ぜひ、神戸大学での経験を通して成長していった彼らの姿を想像しながらお読みください。

●ひとこと編集後記
数百字で伝えたい想いを表現することはとても難しく、また、文字にすることへの責任を感じました。しかし、新しい出会い等1つの記事を書くまでの過程は何とも言えない楽しさがありました。「書くこと」は難しい、でも楽しい。統合報告書の作成で大きな発見ができました。

澁谷

神戸市長との対談が実現したのは、昨年開催したシンポジウムに興味をお持ちいただき、ご来場・ご挨拶いただいたことがきっかけでした。今年度の統合報告書のテーマの1つである「地域に根ざす」にも関連して、神戸市に根ざす大学の視点で対談する予定でしたが、このご時世ですので、新型コロナウイルスについて多く語られています。対談は神戸市役所の応接室で行いました。

●ひとこと編集後記

対談日が決まったと思ったら急遽日程が早まり、大変なこともありましたが、無事に記事が完成し、安堵しています。普段の仕事では知り合えないメンバーと活動でき、違う角度で大学を見ることができました。このプロジェクトでなければ経験できないことばかりでした。

齋藤

市長 武田 廣
学長 久元 喜造氏



本対談は2023年7月10日(月)神戸市役所で行いました。



ご意見・ご感想等ございましたらお気軽にこちらまでご連絡ください

問い合わせ先：神戸大学財務部財務戦略課
(神戸大学ビジョン発信プロジェクト・説明会班)
E-mail : fn-ssp@office.kobe-u.ac.jp
TEL : 078-803-5105